

小学校家庭教育学級・MCR 学級合同閉級式及び家庭教育講演会

1 目的

- ・ 小学校家庭教育学級生及び MCR 学級合同閉級式及び家庭教育講演会を開催することで、家庭教育学級生が家庭教育の重要性について再認識するとともに、次年度の学習意欲を高める。

2 日程・会場・参加人数

2月16日（金）10:00～12:00 松戸市民劇場ホール

当日参加者 34名 一時預かり利用者 1名

3 内容

(1) 開式

主催者挨拶 松戸市教育委員会生涯学習部長 藤谷 隆 氏

1年間の家庭教育学級の活動を高く評価をします。充実したものでやって良かったという感想だと思います。コロナ禍が落ち着き、さまざまな課題を抱えながらもより良い関係性を育む活動をされてきたことと思います。ありがとうございます。本日のご講演が子どもたちに還元され、元気に生活できることを願います。仲間と共に生活する喜びを感じてほしいことや、日頃の学級生たちへの労いと期待を込めた挨拶をされた。



(2) 講演

演題 「あそびの生まれる時」

講師 NPO 法人ハンズオン埼玉 副代表理事 西川 正 氏

(3) 質疑応答 (資料に添付されている QR コード活用)

(4) 閉会

4 概要

「遊ぶ (play やってみること)」と「あそぶ (余裕や安心)」のニュアンスの違い。人と人がおしゃべりができないと人間関係はうまくいかず、安心できる環境はつukれないということ。誰かが発信したら、誰かが応えてくれる関係が安心感を生み子育てに影響する。「答え」と「応え」の違いについて。また、アフリカでの太古からの育児スタイル「共同教育」。家庭教育だけでは辛いものであるから自分の子どもも他人の子どもも同じ様に扱う。子どもと一緒にあって親も遊ぶことが大事。地域と関わるあそび。「ヤキイモタイム」「トークフォークダンス」「もちより音楽カフェ」等々の実践を説明された。動画から伝わる子ども達の笑顔に圧巻でした。何かできるのではないかという思いを持たれたことと思います。日本人の低い自尊感情が高まる子育てについてのご講話でした。



5 参加者の主な感想

- ・ 今日楽しいお話をありがとうございました。コロナを経て、人と人とのつながり、地域の関わりがなくなっている社会を不安に感じていたのですが、今日のお話を聴いて、こういう企画や考え方が広がって、また人と人とのつながりが大事にされる社会になってほしいと改めて感じました。自分自身もこういう企画をやってみたいなと思いました。
- ・ 子育てだけでなく、家庭教育学級の運営にも役立つお話でした。一方的にサービスする関係ではなく、周りを巻き込むと双方にとってプラスになる。子どもとの時間も尊重してあげたい。